

(事例56) 34歳男性、デスクワーク、大腸がん治療開始に伴う易感染性やストーマ管理への配慮

類型	症候	疾患
3, 4	8. 自覚症状のない便潜血陽性	3. 大腸がん

きっかけ	<input checked="" type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input type="checkbox"/> その他の機会
<p>1. 対象者のプロフィール</p> <p>1) 年齢、既往歴 34歳男性、大腸癌</p> <p>2) 業種、作業内容 デスクワーク、製品チェック</p>		
<p>2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 定期健康診断で便潜血陽性</p>		
<p>3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など (定期的な抗がん剤投与による一時的な汎血球減少あり、) 周囲に感染症がみられた場合健康管理室へ連絡するように。 抗がん剤による嘔気などの副作用あるため、本人申請で適宜休めるよう配慮するように。 (手術後一時的にストーマを造設していたため、本人が利用するトイレに洗浄できるところがあるかを確認。また、オムツを使用する時期もあったため特別なゴミ箱を設置し、清掃員へ連絡。)</p>		
<p>4. 事例の詳細(背景、経緯、特に考慮した事情など) 定期健康診断で便潜血陽性となり、下部消化管内視鏡検査で大腸癌発見され、健康管理室へ連絡あり。 進行癌であり開腹手術・術後化学療法を要した。</p>		
<p>5. 就業制限・配慮の主な目的(複数回答可)</p> <p>③ 健康管理を促進するため(受診、治療を強く進めるため)</p> <p>④ 職場や企業への注意を促すため(例: 過重労働職場に対し、残業を一定時間以下に制限するなど)</p>		
<p>6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えてください</p> <p>ストーマ造設時に、本人が臭いや蠕動運動音などで周囲への影響に不安を感じていたようだが、どのような配慮ができるかわからなかった。幸い、実際はそこまで気にならなかったようで問題は生じなかった。</p>		